

令和6年度 学校評価アンケート集計結果及び考察（お知らせ）

残寒の候、保護者の皆さまには日頃より、本校の教育活動へのご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。また、12月に実施いたしました学校評価アンケートへのご協力につきましても大変お世話になりました。標記の件につきまして報告いたします。

全校生徒・保護者ならびに教職員のアンケート結果を集計し検証を進めていく中で、学校の状況に関する共通理解を再確認することができ、本校教育の水準の向上と保証、相互の連携強化につながるものと期待しているところです。本結果を受け、次年度以降の学校運営上の改善や生徒がより良い教育活動等を享受できる環境整備等に、学校として組織的・継続的な改善を図っていけるように、学校づくりを進めて参ります。今後とも、本校教育活動へのご協力方、どうぞよろしくお願いいたします。

評価項目	評価	取組・達成状況	改善の方向性	
1 組織運営	A	昨年度に引き続き、生徒・保護者ともに「楽しく登校できている」「学校行事を楽しみにしている」の各項目で9割前後が満足している。教職員の働き方改革を鑑みながら、適切で効果的な取組が課題として挙げられた。	学校教育の重点施策を明確にし、めざす学校像を家庭・地域と共有するとともに、理解と援助を求めていきたい。今後も学校の創意工夫により信頼され、十分な教育効果が発揮できるような取組と研究を継続して行う。	
2 施設・設備	A	懸案であったトイレ施設・設備の修繕に着手し、快適で安全な施設利用につながりつつある。安全・安心に学校生活が送れていると回答する生徒（97%）も多く、各教室での適切なエアコン使用により季節を問わず学習に取り組んでいる。	教育水準の維持向上の観点から安全性や快適性を確保し、今後も安全・安心で質の高い施設整備を行う必要がある。また、社会情勢を踏まえ教育内容・方法の変化に対応しながら多様化する学習活動にも適応していきたい。	
知	3 授業改善	A	家庭学習と連動した授業モデルを確立し、自立した学びにつながる授業改革を実践した。また、自己選択・自己設定・自己調整する学習場面も増えた。しかし、「授業内容がわかる」の項目で生徒（85%）、保護者（61%）と十分な成果がない。	わからないことを躊躇なく質問できるように、授業モデルや学習観を転換し、対して柔軟な対応ができるようにしていく。また、先行課題の定着に向けて課題内容を含め、指導と支援の在り方を検討していく。
	4 ICT活用	A	授業等で学習用タブレット端末の利活用率は高く、学びの多様に繋がり、タブレット使用により「授業がわかりやすくなった」と回答する生徒（91%）も多く、操作スキルも向上している。また、学級内連絡や資料共有にも活用できた。	視力低下などの健康面への影響等に配慮したり、得られた情報を判断する力や書くことによる学習効果を考慮したりする。今後は、学習コンテンツの有効活用についても積極的にICT活用を試みていきたい。
	5 個別最適な学び	B	ICT使用等を含め、個別・協働的な学びの使い分けを行っている。指導の個別化、学習の個性化を意識した教職員は前年度比22P高く（91%）と高いことに対して、それを実感する生徒（87%）、保護者（55%）と前年と差異は見られない。	先行課題や単元テストと授業との連動の意義づけと教職員・生徒・保護者間の共通理解が十分でないため、学びに向かう力の醸成に課題があるため、一人一人にふさわしい学習方法や課題を模索していく必要を感じる。
	6 主体的・対話的で深い学び・PBL	A	教職員（91%）が主体的・対話的で深い学びにつながる学習課題の設定を心がけることで、生徒（86%）が学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって自己の学習活動が実現できている。	「つきたい力」を共通理解し、教科等の特質を踏まえながら、学習内容や生徒の状況等に応じて、質の高い学びを実現していきたい。また、学習内容を深く理解し、能動的学びとなるように授業改善を進めていきたい。
7 3シヨンプログラム つきたい力	B	3シヨンプログラムやつきたい力を意識したカリキュラムマネジメントを心がけている教職員（83%）、昨年度比37Pと高い。対してその効果を実感できている生徒（71%）と低く、特に振り返りやプランニングの力に課題が見られる（64%）。	非認知能力の向上を意識して教職員が「つきたい力」を授業の中で必須で設定することを習慣化するとともに、生徒と共通認識する必要がある。振り返りの時間の確保と自己分析する力を育成するための施策を研究する。	
徳	8 道徳・SEL・PBIS	A	昨年度に引き続き、保護者・生徒・教職員ともに安定して思いやりの心が育っていると考えている。昨年度と同様にボランティア活動や美化活動への参加の意識が今後の課題である。	肯定的な行動目標を設定し、周知と徹底を図りながらポジティブな行動介入と支援を行う。生徒の継続的変容が見てとれる道徳教育をはじめ、3シヨンプログラムを活用した非認知能力を高める集団づくりをめざしたい。
	9 生徒指導 教育相談	A	個性や多様性を認めた指導を心がけている教職員（100%）に対して、個性を認め温かく関わってもらっていると考える生徒（94%）、保護者（86%）という結果からも、昨年度同様に学校と生徒との間に良好な関係が見てとれる。	年2回実施の教育相談時だけでなく、教職員と生徒との間で気兼ねなく相談できる関係の構築のために、日常から生徒に寄り添う指導・認める指導の一層の徹底と強化を図るとともに、余剰時間の確保に努めていきたい。
10 健康・安全教育	A	部活動終了後の下校指導を通して、安全教育の徹底を図っている。また、学校栄養士による発育過程に応じた主食量、熱中症等の給食時指導や生徒集会時の保健委員による食育指導により健康安全教育の充実を図ることができた。	校内での交通・健康教育に関する取組に加えて、今年度実施した自然災害の発災時に備えての防災教育・避難訓練等についても町と連携を図りながら体験内容を充実させ、生徒の意識を高めていきたい。	
11 保護者・地域との連携	A	保護者（PTA活動含）・地域との連携強化は、保護者（89%）回答からも見てとれる。学習活動を学校から積極的に情報発信・提供することで保護者からの協力が十分に得られている。小中連携のより一層の充実を努めたい。	学校からのお知らせ等の一方的な情報提供が多く、保護者・地域からの十分な意見・要望等を双方向に行えるシステムの構築により、学校教育の充実や地域社会の中で子どもたちを育てる視点が芽生えると考えられる。	

【A：十分できている B：できている C：できていない部分がある】 ※評価については、すべての評価項目4件法上位2観点の平均80%以上：A 60%未満：C

番号	項目	教員	生徒	保護者			
1	組織運営	1 私は、生徒が楽しく学校に行くことができるよう、安心と魅力のある教育活動を行うことができている。	100.0%	1 自分は学校に行くのが楽しい。	87.9%	1 お子さんは、楽しく学校へ行っていると思いますか。	92.2%
1	組織運営	2 学校は、体育会や学年行事が充実するように、工夫された取組となっている。	96.2%	2 体育会や学年行事などは楽しみである。	89.7%	2 お子さんは、体育会などの学校行事に楽しみながら、取り組んでいると思いますか。	86.6%
1	組織運営	3 校務分掌組織は、教職員によく理解され、適切に分担・連携され、支障なく遂行されている。	76.9%				
1	組織運営	4 教職員の校内研修は、適切な内容を適切な時期に実施し、効果的に取り組むことができている。	84.6%				
2	施設・設備	5 学級や学校は、生徒が安心して学習できる落ち着いた環境になっている。	96.2%	3 学級や学校は、安心して学習できる落ち着いた環境になっている。	90.7%	3 学級や学校は、安心して学習できる落ち着いた環境になっていると思いますか。	88.6%
2	施設・設備	6 学校は、施設・設備の面で十分な環境整備を行うことができている。	65.4%	4 学校は安全に生活できる設備・環境が整っている。	96.7%	4 学校は、施設・設備の面で環境が整っていると思いますか。	80.5%
3	授業改善	7 私は、指導の重点「わかった」「できた」が実感できる「魅力ある」授業作りができている。	95.7%	5 自分は授業の内容が理解できている。	85.4%	5 お子さんは、授業内容が理解できていると思いますか。	61.0%
3	授業改善	8 私は、授業についての質問が気軽にできるような雰囲気作りに、努めることができている。	100.0%	6 授業でわからないことについて先生に質問しやすい。	79.3%	6 授業は生徒が発言や質問をしやすい雰囲気であると思いますか。	79.6%
3	授業改善	9 私は、授業中に生徒が主体的かつ積極的に参加できる場面を、意図的に設定している。	91.3%	7 自分は授業に積極的に参加している。	84.4%	7 お子さんは授業に積極的に参加していると思いますか。	68.4%
3	授業改善	10 私は、小テスト・単元テスト後の確認分析から学習内容の定着度を評価し、授業改善を行うことができている。	78.3%	8 先生は授業をわかりやすく工夫してくれている。	94.9%	8 先生は、授業づくりの工夫・改善に取り組んでいると思いますか。	82.4%
3	授業改善			9 単元テストの結果や振り返りをその後の学習に役立てている。	77.8%		
3	授業改善	11 私は、生徒主体の委ねる授業への転換を意識している。	91.3%	10 授業の中で、学習の方法について自分で決めたり選択したりする場面がある。	86.0%		
3	授業改善	12 私は、授業の中で協働的な学習の場面を効果的に設定している。	95.7%	11 ペア・グループ学習の場面で、積極的に課題解決をしようとしている。	89.8%		
3	授業改善	13 私は、授業と連動した先行課題を課すことで、授業の充実を図ることができている。	78.3%	12 先行課題に取り組むことで、授業の理解が深まっていると感じる。	77.9%		
4	ICT活用	14 私は、毎日必ずどこかの場面で、ICTを活用して学習や学校生活に取り組む場面を作ることができている。	82.6%	13 毎日一度はクロムを使う場面がある。	98.5%	9 学校は、教育活動でICTを積極的に取り入れていると思いますか。	85.7%
4	ICT活用			14 自分はクロムをスムーズに操作できる。	89.3%	10 お子さんは、クロムなどのICT機器をスムーズに操作できていると思いますか。	96.0%
4	ICT活用	15 私は、基礎学力の定着と学習意欲の向上を目指したICTの活用ができている。	78.3%	15 クロムなどのICT機器を授業で扱うことで、授業が分かりやすくなっていると感じている。	90.8%	11 ICT機器の活用が授業の理解度の向上につながっていると思いますか。	72.8%
5	個別最適な学び	16 私は、家庭学習の具体的な方法を示し、生徒が自ら課題を見つけて計画的に取り組めるよう工夫することができている。	69.6%	16 自分は家庭で課題にまじめに取り組んでいる。	72.8%	12 お子さんは課題に確実に取り組み、家庭学習の習慣がついていると思いますか。	46.4%
5	個別最適な学び	17 私は、「学習内容の習熟の程度に応じた指導」「補充的な学習」や「発展的な学習」等「個に応じた指導」を取り入れることができている。	91.3%	17 先生は、授業中、各個人にあった助言や発展的な課題を与えてくれる。	87.4%	13 授業は、個の習熟度に適した学びを提供していると思いますか。	54.7%
6	主体的・対話的で深い学び、PBL	18 私は、「主体的な学び」となるよう、めあてや課題の設定を工夫することができている。	91.3%	18 学習課題やめあてを自分事として捉え、学習に取り組めた。	86.0%		
6	主体的・対話的で深い学び、PBL	19 私は、「対話的な学び」となるよう。学習形態を「一斉」「グループ」「個別」の学習を組み合わせるなど工夫できている。	100.0%	19 班やグループ活動に積極的に参加し、学びあうことができた。	90.7%		
6	主体的・対話的で深い学び、PBL	20 私は、「深い学び」となるよう、書籍や先人などから学んだり、他の生徒と意見を交流をしたりする場面を設定することができている。	95.7%	20 授業中に友達の意見を参考にしたり、疑問に思うことを自分で調べたりすることができた。	90.8%		
6	主体的・対話的で深い学び、PBL	21 私は、授業や総合的な学習の時間の中で、探究的な課題解決学習(PBL)を実施することができている。	78.3%	21 総合的な学習の時間は楽しく充実した活動ができた。	93.4%		
7	3シヨンプログラム・つきたい力	22 私は、「プレゼンテーション」を学校生活の中で意図的・計画的に取り入れることができている。	87.0%	22 授業の中で自分の意見を述べたり、友達の意見を聞いたりする場面がある。	94.0%		
7	3シヨンプログラム・つきたい力	23 私は、「ディスカッション」を学校生活の中で意図的・計画的に取り入れることができている。	87.0%	23 スピーチにきちんと参加することができた。	86.2%		
7	3シヨンプログラム・つきたい力	24 私は、「リフレクション」を学校生活の中で意図的・計画的に取り入れることができている。	95.7%	24 生活ノートを確実に記入し、日々の学校生活の振り返りやプランニングに役立てることができた。	64.6%		
7	3シヨンプログラム・つきたい力	25 私は、「つきたい力(9項目)」を明確化し、行事・授業の中で、教師・生徒共に意識することができている。	87.0%	25 9つのつきたい力の内容を理解している。	84.5%		
7	3シヨンプログラム・つきたい力			26 9つのつきたい力を意識して、授業に臨んでいる。	72.6%		
7	3シヨンプログラム・つきたい力	26 私は、「つきたい力(9項目)」をつける手立てを行い、さらにPDCAサイクルをまわして、授業改善に努めることができている。	82.6%	27 9つのつきたい力を意識して授業を受けることにより、その力がついてきていると感じる。	71.0%		
7	3シヨンプログラム・つきたい力	27 私は、生徒が将来の夢や目標をもち、それに向けて努力できるよう、支援や工夫をすることができている。	96.0%	28 自分の夢や目標をもち、それに向けて努力している。	81.4%	14 お子さんは、夢や目標をもち、それに向けて努力していると思いますか。	54.2%
8	道徳・SEL・PBIS	28 私は、生徒に善悪の判断や規範意識等の道徳性を身につけるために、教育の充実を図ることができている。	100.0%	29 先生はまちがった行動に対してきちんと指導してくれる。	98.1%	15 先生は、生徒の行動についてきちんと指導していると思いますか。	81.2%
8	道徳・SEL・PBIS	29 私は、生命を大切にす心や他人を思いやる心等の道徳性を身につけるために、教育の充実を図ることができている。	92.0%	30 自分は友人など周りを大切にしている。	95.1%	16 お子さんに、「思いやりの心」が育っていると思いますか。	90.5%
8	道徳・SEL・PBIS	30 私は、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う「考え、議論する道徳」の授業づくりに取り組むことができている。	91.3%	31 道徳の授業では自分や友達の意見をもとに考えたり、議論したりする場面があった。	92.9%		
8	道徳・SEL・PBIS	31 私は、ポジティブカードを活用し、生徒の適切な行動を価値づけ支援することができている。	60.0%	32 本年度ポジティブカードをもらったり、先生にほめられたりしてうれしかったことがある。	87.3%	17 先生は、お子さんの良い行動を褒めて認めてくれていると思いますか。	87.5%
8	道徳・SEL・PBIS	32 私は、生徒はボランティア活動に積極的に参加していると思う。	50.0%	33 自分はボランティア活動などに積極的に参加している。	61.2%	18 お子さんは、進んでボランティア活動に参加していると思いますか。	45.7%
8	道徳・SEL・PBIS	33 私は、美化(清掃)の指導を確実にし、生徒の自主的な活動につなげるよう工夫することができている。	72.0%	34 自分は美化(清掃)にまじめに取り組む、汚れているところを進んできれいにしようとしている。	93.5%		
9	生徒指導・教育相談	34 私は、個性や多様性を認め合い安心感を与えるような風土を、生徒と共に作ることができている。	100.0%	35 先生は、自分たちの個性を認め、温かく関わってくれる。	94.2%	19 先生は、お子さんの個性を認め、温かく関わっていると思いますか。	86.3%
9	生徒指導・教育相談	35 私は、「自ら考え」「選択し」「決定する」「発表する」「制作する」といった自己決定の場を提供することができている。	96.0%	36 授業や学校生活の中で自分で意思決定することができた。	91.9%		
9	生徒指導・教育相談	36 私は、生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援で、「事案の未然防止」「早期発見」「早期支援・対応」に努めることができている。	100.0%				
9	生徒指導・教育相談	37 私は、特別支援教育の視点を活かし、個に応じた学習支援の充実や不登校支援を適切に行うことができている。	88.0%				
9	生徒指導・教育相談	38 私は、必要に応じ、SSC、SSWや外部機関と適切に連携し、効果的な対応を行うことができている。	84.0%				
9	生徒指導・教育相談	39 私は、自らあいさつをし、生徒に気持ちの良いあいさつをするよう指導することができている。	100.0%	37 自分は自ら進んであいさつをしている。	90.1%	20 お子さんは、よくあいさつをしていると思いますか。	76.0%
9	生徒指導・教育相談	40 私は、教師と生徒との間に、好ましい人間関係が育むことができている。	100.0%	38 自分は気軽に相談できる先生がいる。	78.1%	21 学校は、お子さんのことについて相談しやすいと思いますか。	72.9%
10	健康・安全教育	41 学校は、健康安全教育的計画が適切に立てられ、自己や他者の健康の保持増進を図る力を育成する実践を進めることができている。	100.0%	39 健康に留意して生活することができた。	87.9%	22 学校は、健康に関する指導や配慮を行っていると思いますか。	86.9%
10	健康・安全教育	42 私は、生徒が交通ルールを守り安全な生活を心掛けるよう、指導することができている。	100.0%	40 自分は交通ルールを守り、安全な生活を心がけている。	95.9%	23 お子さんは、交通ルールを守り、安全な生活を心掛けていると思いますか。	92.0%
11	保護者・地域との連携	43 学校は、各種便りやホームページの更新、すぐへの発出等を通して、積極的に情報発信を行うことができている。	96.2%			24 学校は、各種の便り等を通して、積極的に情報発信を行っていると思いますか。	88.6%
11	保護者・地域との連携	44 学校は、「参観日」「講演会」「懇談会」を開催し、保護者との連携に努めることができている。	96.2%			25 学校は、情報共有を怠らず、連絡を密に取ってくれていると思いますか。	81.5%
11	保護者・地域との連携	45 私は、家庭への個別連絡を行い、保護者との連携に努めることができている。	92.0%	41 町や地域の行事に参加している。	67.9%	26 学校は、PTA活動や地域の諸活動に対して協力的だと思いますか。	90.7%
11	保護者・地域との連携	46 学校は、学校運営協議会やPTAと連携し、地域に根ざした教育活動を行うことができている。	100.0%				
11	保護者・地域との連携	47 学校は、幼、小、中、高の連携強化ができている。	80.8%				